

12月15日から期間限定開催

児童・障がい者・高齢者アーティストのアート展『第4回新宿アール・ブリュット企業展』へ協賛

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：若林 克昌）は、「新宿アール・ブリュット企業展推進コンソーシアム※」の取り組みに賛同し、同コンソーシアムが主催する児童・障がい者・高齢者アーティストを対象とした福祉アート展「第4回新宿アール・ブリュット企業展」を、2025年12月15日（月）から12月19日（金）の5日間、期間限定で開催します。

期間中は、アーティストが制作したアート作品約100点が、新宿区内の4つの会場で展示されます。



**ARTBRUT**  
Shinjuku

2025.12/15(MON) - 12/19(FRI)

【主催】

新宿アール・ブリュット企業展推進  
コンソーシアム

当社は1971年の開業以来地域とのつながりを大切に、幅広いお客様に利用しやすいホテルとしてユニバーサルルームの設置や「心のバリアフリー」の推進など、業界に先駆けて取り組んでまいりました。昨年に引き続き本アート展に参加することで、地域社会の福祉活動への貢献に加え、当社と地域社会の更なる相互理解を深めることが出来ると考え、参画いたしました。

※「新宿アール・ブリュット企業展推進コンソーシアム」は、区内45の社会福祉法人で構成される「新宿区内社会福祉法人連絡会」を会員として、協賛企業を特別会員として迎え、「新宿アール・ブリュット企業展」の運営を行うコンソーシアムのこと。

○「新宿アール・ブリュット企業展」の概要

児童・障がい者・高齢者など多様なアーティストによるアート作品を企業に展示することで、DE&I※の推進とアーティストの活躍の場を広げることを目的に、2023年から開催しています。企業を会場とすることを特徴としたアート展で、普段のオフィス空間が多数のアート作品によって彩られます。4回目を迎える本展では、これまでに延べ390点を超える作品を展示してきました。今回の展示では、協賛企業4社の会場に合計約100点の作品が展示される予定です。

※DE&I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）とは、多様性（Diversity）、公平性（Equity）、包摂性（Inclusion）を意味する言葉。組織で働く多様な人材が、状況に合わせて必要なサポートを受けな

がら、一人ひとりが特性や強みを活かして最大限のパフォーマンスを発揮し、経営成果につながっている状態を目指す考え方。

期間 : 12月15日(月)午後～12月19日(金)(最終日は17:00まで)

※展示時間は各会場ごとに異なる可能性があります

展示会場 : 株式会社京王プラザホテル(東京都新宿区西新宿2-2-1)3階アートロビー  
株式会社ネオキャリア(東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリスビル18階)  
クオリカ株式会社/ソランピュア株式会社/TIS株式会社  
(東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー14階)  
東亜ディーケーケー株式会社(東京都新宿区高田馬場1-29-10)

主催 : 新宿アール・ブリュット企業展推進コンソーシアム

協賛 : 株式会社京王プラザホテル、アルタヴィア・ジャパン株式会社、新宿区社会福祉協議会、  
東亜ディーケーケー株式会社、株式会社ネオキャリア、クオリカ株式会社、  
ソランピュア株式会社、TIS株式会社

※「アール・ブリュット」とは、フランス語で“生の芸術”という意味。「正規の美術教育を受けていない人による芸術」や「既存の美術潮流に影響されない表現」等と説明されることが多いです。現代では、さまざまな解釈がありますが、「福祉」と“芸術”という2つの視点が存在し、多様性や一人ひとりの個性の重要性を受け止める芸術」という解釈もあります。

本件に関するお問い合わせ

新宿アール・ブリュット企業展推進コンソーシアム運営事務局

<https://forms.gle/D3zoa6riKy7TuQ:98>